



デザイン／梶 成子 (アトリエ seeds)

＜編み方＞

※この作品は、ダブルフックアフガン針を使いますが、片方のかぎだけを使って通常の（シングルフックの）アフガン編みで編みます。

①バッグ本体の編み地を編みます（編み図はP4）。

(1)a糸で作り目を33目作ります（くさり編みは後で裏山を拾うので、ゆるめに編みます）。

(2)くさりの裏山を拾い、表編みで1段編みます。

2段めで糸の色を変えるので、最後の戻り目（右端）を編む前にa糸を針の前から後ろに掛けて休めます。b糸で引き抜き、色を替えます。

【色の変え方（戻り目の右端の編み方）】※画像は編み目を見やすくするため別の糸を使用しています。



a糸を手前から後ろに掛けて休める



b糸で一度に引き抜く



引き抜いた状態



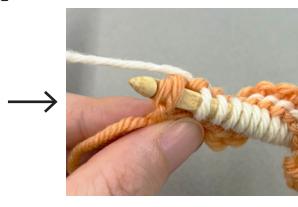
続けてb糸で2段めを編む

(3)2段めはb糸で表編みをします。往き目の最後（左端）の1目は、前段のタテ目と裏側の2本を拾います。続けて戻り目を編みます。

【往き目の左端の編み方】



左端は、通常拾うタテ目とその左奥にあるタテ目を拾う



b糸で引き抜いた状態

最後の戻り目を編む前に、休めていたa糸を針の前から後ろに掛けて休めます（次にa糸を使うのがもう一段になります。このようにすると裏に渡る糸が短くなります）。続けてb糸で引き抜きます。



休めていたa糸を手前から後ろに掛けて休める



b糸で一度に引き抜く



引き抜いた状態



続けてb糸で3段めを編む

＜使用道具＞

54-920

「匠」ダブルフックアフガン針<10号>
<https://clover.co.jp/products/54920>

※54-910 「匠」アフガン針<10号>でも編めます



55-756 ステッチマーカー<M>

55-003 とじ針No.13

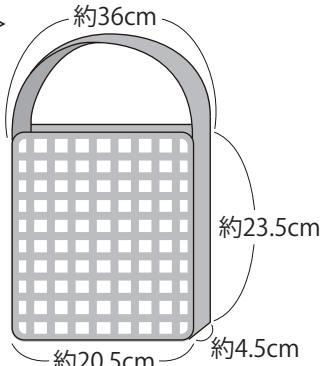
36-666 カットワークはさみ115

＜材料＞

a糸:並太毛糸（ハマナカ「あみぐるみが編みたくなる糸並太」
ベージュ(516) 約42g(2玉)

b糸:並太毛糸（ハマナカ「あみぐるみが編みたくなる糸並太」
ホワイト(501) 約26g(2玉)

＜出来上がりサイズ＞



(4)3段めはそのままb糸で続けて編みます。

最後の戻り目を編む前に、b糸を針の前から後ろにかけて休めます。

休めていたa糸で引き抜き、色を替えます。

(5)4段めはa糸で表編みを2目編み、3目めは「変わり長々編み引き上げ編み」を編みます。

★変わり長々編み引き上げ編み 編み方



長々編みの要領で、
針に糸を2回巻く



3段下にある、通常拾うタテ目と、
その右奥にあるタテ目を拾う



タテ目2本に
針を入れた状態



糸をかけて引き抜き、
後は長々編みを編む



変わり長々編み引き上げ編み
ができた状態



次からは、「表編み3目、変わり長々編み引き上げ編み1目」を繰り返します。
左端は、「長々編み引き上げ編み1目、表編み2目」で終わります。



往き目が編めたら、戻り目は普通に編みます。

(6)5段め以降は編み図を参照して編みます(31段めまで)。

(7)a糸で引き抜き止めをしてバッグ本体の編み地が1枚完成です。

(8)同じものをもう1枚編みます。

②持ち手(マチ)の編み地を編みます(編み図はP4)。

(1)a糸で作り目を7目作ります(くさり編みはゆるめに編みます)。

(2)くさりの裏山を拾い、表編みで137段編みます。

2段め以降の往き目の最後(左端)の1目は、本体の時と同じように前段のタテ目と裏側の2本を拾います。



左端は、通常拾うタテ目とその左奥にあるタテ目を拾う



引き抜いた状態

(3)137段めから続けて引き抜き止めをして、持ち手(マチ)の編み地の完成です。

③バッグ本体と持ち手(マチ)の編み地を細編みでつなぎます。

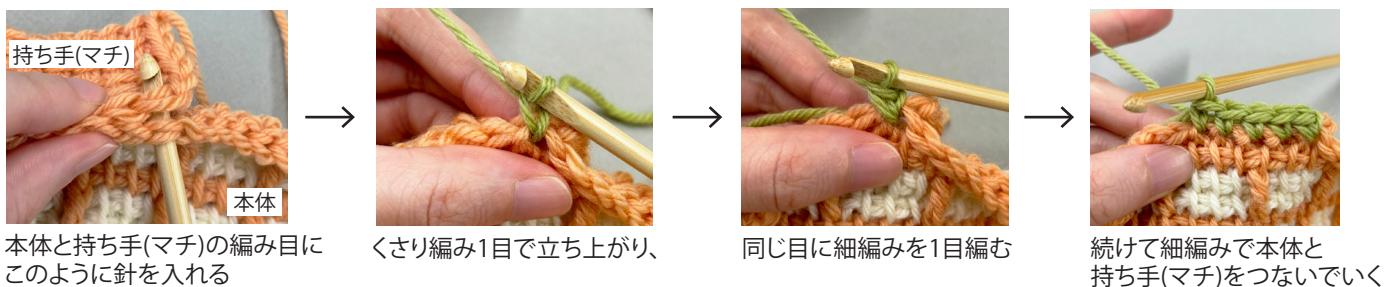
(1)下図のように持ち手(マチ)の編み地に、ステッチマーカーでしるしを付けます。



(2)バッグ本体と持ち手(マチ)の編み地を外表に合わせます。

まず本体の底部分の中央と持ち手(マチ)の端を合わせ、後は(1)で付けたステッチマーカーを目印にして合わせてください。P4の<本体と持ち手(マチ)のつなぎ方図>もご覧ください。

(3)本体側を見ながら、細編みでつなぎます(a糸を使います)。※画像は分かりやすいように糸を変えています



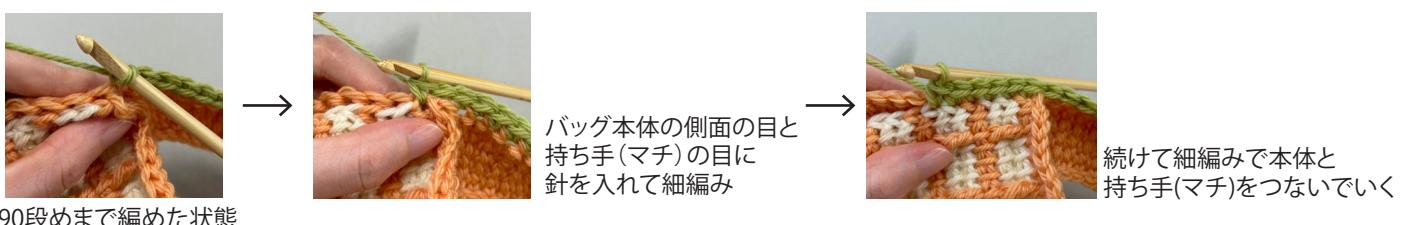
(4)16段めまで編めたら、17段めからは本体の側面の目を拾っていきます。



(5)48段めから90段めは持ち手になります。47段めから続けて持ち手(マチ)に細編みで縁編みをします。



(6)91段めからは再びバッグ本体と持ち手(マチ)を細編みでつなぎます。



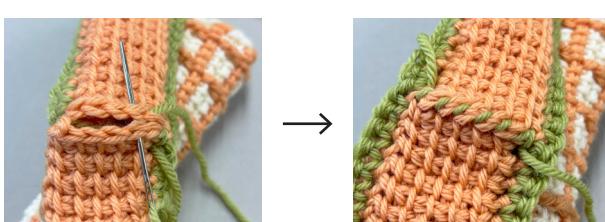
(7)最後(本体の底中心)まで来たら、最初の細編みの目に引き抜きます。

糸端をカットして始末します。



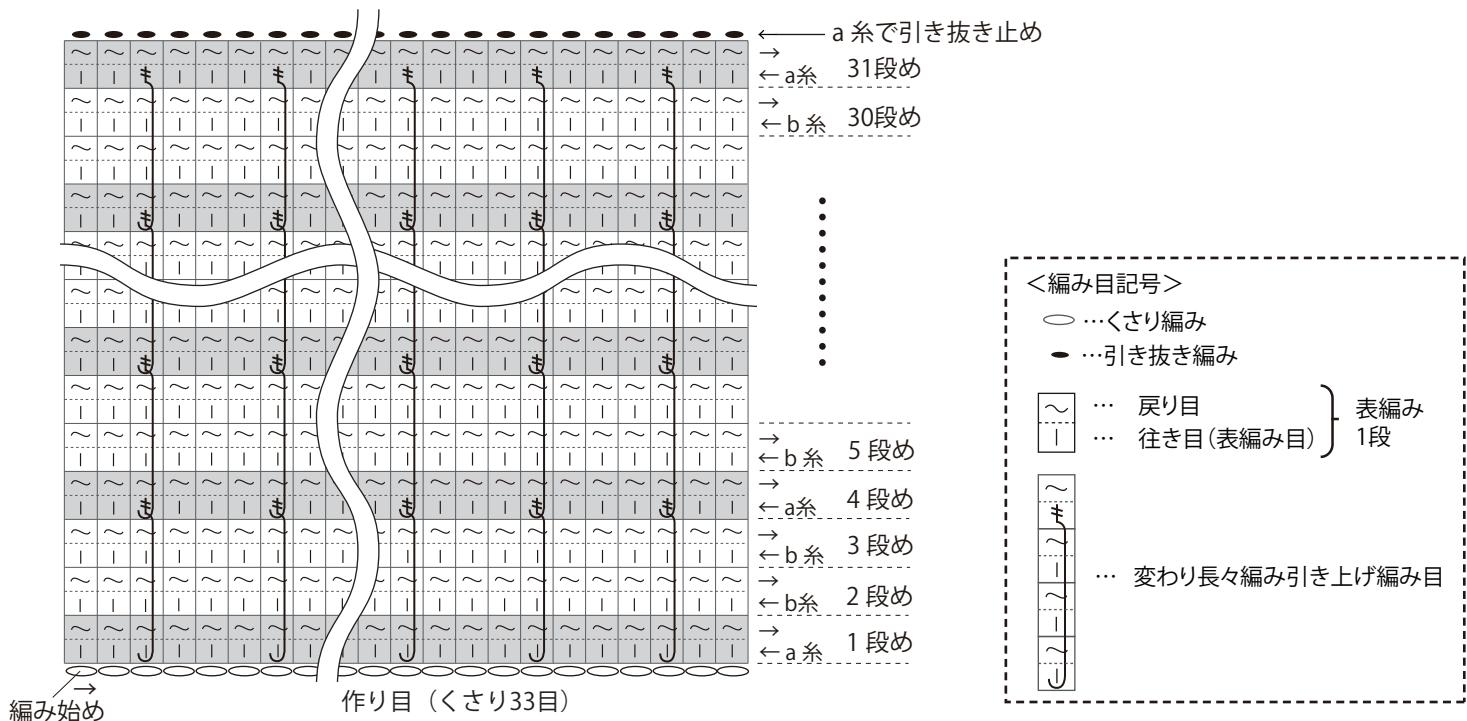
(8)持ち手(マチ)の反対側に、もう一枚のバッグ本体を同じように細編みでつなぎます(持ち手部分は縁編み)。

(9)とじ針にa糸を通し、底マチの中央部分を巻きかがりで閉じます。糸始末をして完成です。



<バッグ本体・編み図>

・同じものを2枚編む。



<本体と持ち手(マチ)のつなぎ方図>

